

サンピアザ劇場企画公演
プレミアムステージ
SUNPIAZZA PREMIUM STAGE

どっかにあるはずだ、道は。

自分が一番で何が悪い。

演劇ユニット イレブン☆ナイン 新作本公演
『どう、しよう、も、ない。』

脚本・演出◎納谷真大

ロクデナシばかりだ。

伝統なんて、クソ喰らえ。

どうしようもない

演劇ユニット イレブン☆ナイン 新作本公演
どう、しよう、も、ない。

脚本・演出／納谷 真大

出演◎江田由紀浩 小島達子 明逸人 大川敬介 上總真奈 小林泉 澤田未来 生水絵理 廣瀬詩映莉 納谷真大
 渋谷こうすけ 石川哲也(わんわんズ) 由村鯨太(わんわんズ) 田中春彦(わんわんズ) 尾崎翔太(劇団ひまわり) 山田マサル(バインソー)



江田 由紀浩 小島 達子 明 逸人 大川 敬介 上總 真奈 小林 泉 澤田 未来 生水 絵理
 廣瀬 詩映莉 納谷 真大 渋谷 こうすけ 石川 哲也(わんわんズ) 由村 鯨太(わんわんズ) 田中 春彦(わんわんズ) 尾崎 翔太(劇団ひまわり) 山田 マサル(バインソー)

『師匠っ!いつまで生きてるつもりですかっ?』

人口100人にも満たない離島、由々敷島(ゆゆしきじま)。
 そこには、代々、受け継がれた伝統舞踊「由々」(ゆゆ)があった。

「由々」の師範である鎬木庄之介は人を人とも思わない傍若無人のロクデナシ。
 それでも「由々」の伝統を守り、その世界の絶対的存在として君臨した。
 いつしか彼のもとには多くの弟子が集まり、「由々」は長い歴史の中で最盛期を迎えた。

しかし、どんな天才にも死は訪れる。
 後継者候補は3人いた。最も古くからの弟子・庄吉、庄之介の実子・庄太郎、そして、才能ある若手・庄次。
 それぞれの家族や、他の弟子達をも巻き込み、彼らは「由々」を守るために選択を迫られる。

師匠の想い、弟子の気持ち、それらに絡み合う様々な事情。
 骨肉の争いが、今、始まる。

2015年11月18日(水)～22日(日)

サンピアザ劇場 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目7-2 ☎011-890-2458 (平日10:00～17:00) <http://www.arc-city.com/sunpi-theater/>

18日(火) 19日(水) 20日(木) 21日(金) 22日(土)

13:00開演●.....●
 18:00開演●.....●
 20:00開演●.....● ※開場は開演の30分前です。
 ※車椅子でご来場予定の方は、当日のスムーズなご案内のために、事前に下記の問い合わせ先までご連絡ください。

チケット料金／一般／前売2,800円(当日3,000円) 学生／1,200円(前売・当日共)
 ペアチケット 5,000円(前売のみ) 親子ペアチケット 3,800円(一般1名+中学生以下1名・前売のみ) ※ペアチケットはWebのみの取り扱い
 ※日時指定 全席自由 税込(未就学児童入場不可)

チケット取り扱い◎ローンチケット(Lコード:11051) ◎サンピアザブレイドガイド(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目サンピアザ センターモール3F/10:00～20:00)
 ◎デュオブレイドガイド(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目デュオ-1 B1F/10:00～21:00)
 インターネット予約◎Corichチケット! <http://ticket.corich.jp/apply/68506/>

スタッフ
 照明◎上村範康 音響◎奥山奈々 舞台美術◎高村由紀子 舞台監督◎上田知 宣伝映像◎大川敬介 衣装◎ELEVEN NINES 振付◎大川敬介 音楽◎明逸人
 宣伝美術◎小島達子 宣伝写真撮影◎クスマエリカ 題字◎澤田未来 記録映像◎小路篤史 広報◎山岸奈津子 制作◎澤田未来 ゼネラルマネージャー◎カジタシノブ(tab)
 協力◎バインソー わんわんズ 劇団ひまわり & BORDER 北あかり さっぽろ天神山アートスタジオ HEART LAND さっぽろアートステージ2015実行委員会 札幌劇場連絡会
 主催◎札幌副都心開発公社 北海道演劇財団 ELEVEN NINES 企画・制作◎ELEVEN NINES

お問い合わせ／info@eleven9.jp ☎090-1386-7080(制作) ※留守電の際はメッセージをお残しください。[イレブンナイン公式HP] <http://eleven9.jp/>

ELEVEN NINESとは

札幌を拠点に活動する演劇集団。富良野塾の卒業生を中心に2004年に結成。演劇でしか表現できないもの、ライブならではのエンターテインメント性を追求しつつ、質の高い作品を生み出している。近年では活動の場をCM、ドラマ、映画、ラジオなどへも広げ、道内のTV局が製作する番組に企画から携わるなどの活動も行う。2013年より、それまでの納谷真大を代表とするユニットから、メンバー全員がそれぞれに企画をプロデュースし、様々な公演を打ち出していく表現者団体「ELEVEN NINES(イレブンナイン)」へと形を変える。現段階においてELEVEN NINESには、納谷真大・演出の「演劇ユニットイレブン☆ナイン」、小島達子がプロデュースする「dEBoo」、若手メンバーによるユニット「ギャルソンモンケ」などが存在する。



2012年「サクラファミリー」

2015年「12人の怒れる男」



演劇祭の祭典! TGRは10周年!

この夏、『12人の怒れる男』で約3000人を動員した
 イレブンナインの次回公演は納谷真大3年ぶりの新作本公演!!